



ふくせんレポート

2021
10|22

第9号

1・2・3面	バリアフリー-2021に出展
4・5面	知識PLUS「男性の育児参加が少子化を変える 注目される産後パパ育休とは」
6・7面	住宅改修事例「押入れのスペースを活用して寝室のある2階にトイレを新設」
8面	本部&ブロック活動報告



▲新型コロナウイルス感染防止対策に配慮した会場の様子

挨拶する岩元理事長▶



2021年8月25日から27日の3日間に渡り、バリアフリー2021が、約一年半ぶりに開催された。コロナ禍にあって、2020年は中止され、2021年は例年より4か月遅くなったものの、初のリアルとオンラインのハイブリッド開催、注目のイベントとなった。本会は、ブースを出展して、活動内容の紹介や、成果物の展示などを行うとともに、8月25日にはふくせん特別講演を開催した。テーマは、「ハンドル形電動車椅子の安全利用に係る福祉用具専門相談員向けガイドライン・指導手順書の解説と活用方法」。令和2年度厚生労働省老人保健健康増進等事業の国庫補助を受けて行った調査研究事業の成果物であるガイドラインと指導手順書を読み解きながら、電動車椅子の超高齢社会におけるポテンシャルにも言及する内容であった。

バリアフリー2021に出展(8/25~27 in大阪) ふくせん特別講演を会場&オンラインで開催 福祉用具専門相談員が担う役割は？ 〜電動車椅子の安全利用で広がるパーソナルモビリティとしての可能性〜

【開会挨拶・岩元理事長】

「少子高齢化」が社会問題として注目されたのはもうかなり前の話ですが、超高齢社会となった今、重要な社会課題の一つとして、「高齢者のモビリティの確保」があげられています。高齢者が関わる自動車事故件数の増加や、免許返納の動きが広がっていることなどがその背景となっています。昨今、電動車椅子の需要は着実に伸

・・・ふくせん事務局より・・・
好天に恵まれた3日間。「バリアフリー2021」慢性期医療展2021
／看護未来展2021「来場者数は、
8月25日(水) 2776人
8月26日(木) 4547人
8月27日(金) 4083人
合計1万1406人と、前回比約13%
だったものの、2年ぶりの開催に会場
は活況を呈しました。
ふくせんブースにお立ち寄りくださった皆様、スタッフとしてご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

びていますが、それに伴う事故も後を絶ちません。電動車椅子の安全利用を考える時、我々福祉用具専門相談員の果たすべき役割が重要なカギとなります。介護保険制度を使って福祉用具を導入する際に、その利用方法や目的、